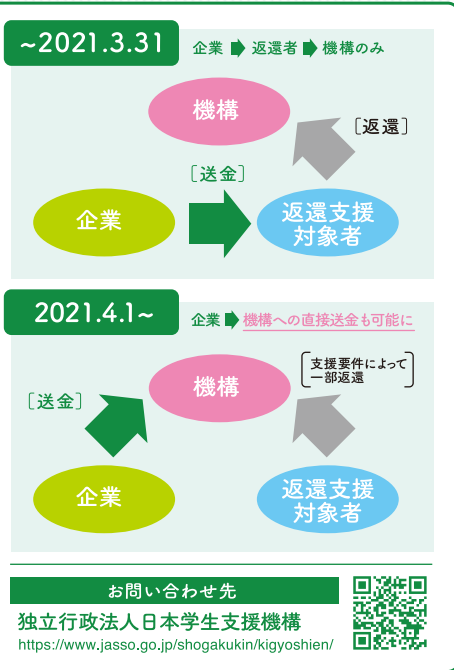




NEWS BOX

がんばろう! ものづくりの力を応援します!



企業の奨学金返還支援制度とは、独立行政法人日本学生支援機構（以下、機構）の貸与奨学金（第一種奨学金・第二種奨学金）を学生時代に受けていた社員に対し、企業が返還額の一部または全額を支援する制度。これまでは各企業から社員に直接支援する方法のみだったが、今年4月から、機構が将来の企業の担い手となる奨学金返還者（以下、返還者）を応援するための取組として、企業が返還者に代わって

機構に直接返還する「代理返還制度」が創設された。代理返還のメリットとして、返還者にとっては、支援を受けた額の所得税が非課税となり得ること、企業にとっては、給与として損金算入ができるため法人税の減額が見込まれる。企業の人材確保に向けて、本制度が導入・活用されていくことが期待される。詳細については機構のホームページをご確認ください。

今年から企業の奨学金返還支援制度に「代理返還制度」創設!

奨学金返還支援制度の導入で若者の地元企業への就職促進

一棟司塾

募集人数
10人 ※10人を超えた場合も参加可能です

開催場所
東日本開発仙台支店（富谷市富谷仏所 226-78）
※カリキュラムにより会場が異なりますのでご確認ください

参加費用
1講座につき 1,000円

お問い合わせ先
一般社団法人 東北建設技能協会内 一棟司塾事務局
（仙台市泉区歩坂町 70-6 STUDIOap 103）
TEL 022-253-6866
<https://www.ittoutukasa-juku.com/>

木造建築業界で活躍する人材育成を目的とした多能工育成プログラム「一棟司塾」の今年度の活動が8月よりスタートした。同塾では、受講生たちで平屋の建物一棟を実際に建築。業界のプロが指導にあたり、図面の見方、重機の取り扱い、足場の組み立てなど、木造建築の一連の流れを実践で学ぶことができるのが特長だ。

「今後の建築業界では、技術力と管理能力を兼ね備えた人間が求められます。そうした人材を育てるのがいちばんの狙いです」と話すのは高橋渉塾長（有限会社栗駒建設代表取締役）。同塾では大工のみならず、建設業界に係る様々な職種を受講生が参加。普段は営業職を担当しているという受講生は「実際の建築の流れを詳しく知ることができ、現場との円滑な連携に生かしたいです」と意欲を見せる。同塾は来年1月までに全26回のカリキュラムを実施予定。興味のある方は、ぜひ左記の連絡先までお問い合わせください。

様々な職種の受講生が参加 木造建築の現場を实践で学ぶ

多能工育成プログラム「一棟司塾」令和3年度の活動がスタート

宮城新卒者等人材確保推進本部からのメッセージ

新型コロナウイルスの影響による企業の事業活動縮小が懸念される中、新規学校卒業者等の皆さまが安定した就職先を確保し、充実した職業生活を送ることができるよう、企業との懸け橋となる各種就職支援および職場定着支援を「就職・採用応援プラン」により推進します。

詳しくは、[宮城労働局ホームページ](#)をご覧ください



塗り師の横顔

Portreport



有限会社東北工芸製作所
工場長 松川泰勝
Yasukatsu Matsukawa



玉虫塗のとりこになった
自らを律し技を磨き続ける

玉虫塗の美しさにとりこになった18歳の少年は、40年たった今もその輝きに心を奪われ続けている。玉虫塗は、まさに文字通り玉虫の羽のような艶を帯び、かつ、光の受け具合で微妙にその色合いを変化させる。国立工芸指導所で開発され、仙台の地で東北工芸製作所が生産を開始し五十有余年たった1985年には、宮城県より伝統的工芸品の指定を受けた。「初めて玉虫塗に出合ったとき、あまりに美しく本当にすごい衝撃を受けました。見ですぐ、これを作りたいと思いました」玉虫塗の製作に携わってから「1000個同じ物を作るなら、100個全て見分けのつかない、同じ質のものをそろえたい」と常に技を突き詰めている。そのために何より求められるのは自らを律すること。行動を制御し、心を平穏に保つ。「高校時代から、体重に変化がない」のは自制心のたまものである。一方、新たな挑戦を求める意欲は旺盛だ。「玉虫塗を施したことのない製品や素材はまだたくさんあります。玉虫塗の可能性を広げ、また、素晴らしさをもっと知らしめたい。玉虫塗への愛が尽きない。